

- 問1 東アジアに位置し、広大な国土を持つ中国では、かつて人口の急増を抑えるために「一人っ子政策」と呼ばれる厳しい産児制限が行われていました。しかし、2015年にこの政策は廃止されました。その背景にある、現在の中国が直面している社会問題として最も適切なものはどれですか。
。（2024年 石川県公立入試 類似）
1. 急速な少子高齢化が進行し、将来の労働力不足や社会保障負担の増大が懸念されていること

2. 広大な内陸部を開発するために、強制的な移住を伴う人口増加が必要になったこと

3. 食料の自給率が劇的に改善し、人口爆発による食料不足の恐れが完全に解消されたこと

4. 都市部と農村部の間の経済格差が縮小したことで、人口を抑制する必要がなくなったこと
- 問2 インドネシアの産業構造と資源について、統計的なデータから読み取れる特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。
（2018年 東京都公立入試 類似）
1. 第3次産業が就業人口の8割を占める先進国型の構造で、石炭などのエネルギー資源は輸入している。

2. 就業人口の3割以上が第1次産業に従事しており、産出した石炭の多くを輸出に回している。

3. 高度な工業化によって第1次産業の就業人口は1割未満であり、石炭は主に国内で消費される。

4. 広大な土地を利用した鉄鉱石の採掘が中心であり、石炭の産出量は世界的に見ても少ない。
- 問3 インドでは近年、ICT（情報通信技術）産業が急速に発展し、国の経済成長をけん引しています。この背景にあるインドの社会的な特徴や強みについて述べた文として、最も適切なものはどれか選びなさい。
（2020年 静岡県公立入試 類似）
1. 世界最大の人口による安価な労働力を最大限に活かし、衣類や日用雑貨などの労働集約的な軽工業を成長の柱としている。

2. 公用語の一つである英語や、高度な数学教育の普及を活かし、ソフトウェア開発などのサービスを世界中に提供している。

3. 東南アジア諸国連合（ASEAN）の中心メンバーとして域内の関税を撤廃し、周辺諸国との自由貿易によって工業化を進めている。

4. 広大な国土で採掘される豊富な原油や鉄鉱石の輸出を主な財源とし、それをもとにハイテク産業への投資を行っている。
- 問4 アメリカ、中国、オーストラリア、イギリス、タイの5か国の産業的特徴を比較した際、タイに該当する記述として適切なものはどれか選んでください。
（2016年 富山県公立入試 類似）
1. 東南アジアに位置し、外国企業の進出によって工業化が進んだ結果、農産物の輸出中心から工業製品の輸出中心へと経済構造が変化した。

2. 広大な農地を利用した企業的な大規模農業が行われ、農産物の輸出額が世界でも最大級であるとともに、先端技術産業も発達している。

3. 世界最大の人口を抱え、「世界の工場」として急速な経済発展を遂げ、各地の経済特区を中心に工業製品を世界中に輸出している。

4. 羊毛の生産や、鉄鉱石・石炭などの鉱産資源の採掘が盛んであり、それらの輸出が国の経済において大きな割合を占めている。
- 問5 南アジアに位置し、1億人を超える人口を抱えるインドでは、季節風（モンスーン）が気候に大きな影響を与えています。この地域で吹く季節風の方向について、夏と冬の組み合わせとして正しいものはどれですか。
（2018年 東京都公立入試 類似）
1. 夏は北東から、冬は南西から吹く

2. 夏は南西から、冬は北東から吹く

3. 夏は南東から、冬は北西から吹く

4. 夏は北西から、冬は南東から吹く
- 問6 インドに進出している外資系のファストフード店では、他の国で一般的に使われる牛肉や豚肉の代わりに、鶏肉や魚肉、あるいは野菜を用いたメニューが数多く提供されています。このようなメニュー構成となっている理由として、インドの宗教人口の統計的背景をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。
（2025年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 人口の約8割を占めるヒンドゥー教徒が牛を神聖視して牛肉を避けるとともに、人口の約14%を占めるイスラム教徒が豚肉を禁忌としているため。

2. 人口の大多数を占める仏教徒が殺生を禁じているため、肉類全般の提供が法律で厳しく制限されており、魚肉が推奨されているため。

3. キリスト教徒が人口の約15%を占めており、特定の曜日に肉を食べてはいけないという教えが社会全体の食習慣に強く影響しているため。

4. ヒンドゥー教徒が不浄なものとして豚肉を避け、イスラム教徒が神聖なものとして牛肉を避けるという、両者の教えが共通しているため。
- 問7 インドなどの南アジアにおいて、夏に海から陸に向かって吹き、地域に大量の雨をもたらす風を何と呼びますか。その名称と特徴として最も適切な組み合わせを選びなさい。
（2021年 福島県公立入試 類似）
1. 季節風（モンスーン）といい、この風の影響で乾季が生じる。

2. 偏西風といい、ヒマラヤ山脈から吹き下ろす乾燥した風である。

3. 季節風（モンスーン）といい、この風の影響で雨季が生じる。

4. 偏西風といい、一年中海から一定の湿った空気を運び続ける。
- 問8 中国が「世界の工場」として急速な経済発展を遂げたことは、地球環境にも大きな影響を及ぼしています。1990年から2015年にかけての世界の二酸化炭素排出量の推移をまとめた資料によると、中国の排出割合は10.3%から28.1%へと上昇し、世界最大となりました。この25年間ににおける中国の二酸化炭素排出量の変化として正しいものはどれですか。
（2019年 長野県公立入試 類似）
1. 経済発展に伴い、排出量は約2.7倍に増加した

2. 環境対策の進展により、排出量は減少に転じた

3. 排出量は微増したが、他国の増加率よりは低い

4. 工業化の影響により、排出量は約4.3倍に増加した
- 問9 多くの日本の製造業が、タイなどの東南アジア諸国に工場を建設し、生産拠点を進出させている背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。なお、統計資料によれば、1時間あたりの賃金は日本が約22.1ドルであるのに対し、進出先である東南アジアの主要国は約1.5ドル程度となっています。
（2019年 福岡県公立入試 類似）
1. 石油や鉄鉱石といった、工業製品の製造に不可欠な地下資源が豊富であるため

2. 生産コストを低く抑えることができる、安価な労働力を確保するため

3. 現地の労働者の持つ、世界最高水準の高度な先端技術を活用するため

4. 日本国内よりも環境規制が厳しく、より高品質な製品が製造できるため
- 問10 インドでは近年、自動車産業が急速に発展し、2022年には生産台数が世界4位、販売台数が世界3位となりました。2002年から2022年にかけての人口推移や経済指標から読み取れる、この成長の主な要因として最も適切な説明はどれですか。
（2024年 宮城県公立入試 類似）
1. 国内の人口が減少に転じたことで労働力が不足し、それを補うために輸出向けの自動運転技術が飛躍的に発展した。

2. 人口が約14億人まで増加し、1人あたり国内総生産（GDP）の上昇によって国内需要が高まったため、供給体制の整備が進んだ。

3. 国内の需要が低迷したため、政府が国内供給を制限し、先進国向けの高級車輸出に特化する政策をとった。

4. 1人あたり国内総生産（GDP）が停滞したため、低賃金の労働力を活用した海外市場向けの輸出専用車のみが成長を支えた。
- 問11 東南アジア諸国の産業と宗教について述べた文として、インドネシアの特徴を正しく説明しているものはどれですか。
（2024年 長崎県公立入試 類似）
1. ヒンドゥー教を信仰する人々が最も多く、近年では高度な教育を受けた人材によるIT産業の発展が目覚ましい。

2. 人口の多くが仏教を信仰しており、メコン川デルタなどの広大な平野で米の二期作が盛んに行われている。

3. 人口の約9割がキリスト教（カトリック）を信仰しており、バナナやパイナップルの生産・輸出が盛んである。

4. 人口の8割以上がイスラム教を信仰しており、大規模な農園であぶらやしを栽培するプランテーション農業が行われている。